

向井潤吉

Mukai Junkichi: Minka in the Mountains

山岳風景のなかの民家



《春陽富士》[山梨県南都留郡忍野村忍草]、1965年、個人蔵(世田谷美術館寄託)

2026

10/1 [thu.]

2027

— 3/14 [sun.]

世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

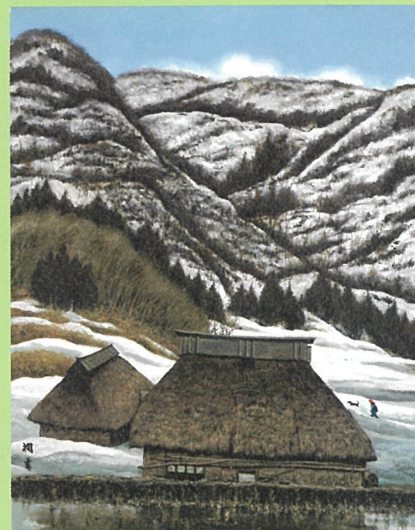
開館時間 | 10:00～18:00(最終入館は17:30まで) 休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、年末年始(2026年12月28日～2027年1月4日)、10月12日(月・祝)、11月23日(月・祝)、1月11日(月・祝)は開館、10月13日(火)、11月24日(火)、1月12日(火)は休館 観覧料 | 一般220円(180円)、大高生170円(130円)、65歳以上／中小生110円(90円) * ()内は20名以上の団体料金 * 障害者の方は110円(90円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。* 世田谷区内在住・在学の小・中学生は土、日、祝・休日は無料 〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL03-5450-9581



1



2



3



4



5

- 1 《最上川早春》[山形県北村山郡大石田町今宿]1966年
- 2 《六月の田園》[岩手県岩手郡滝沢村]1971年
- 3 《宿雪の峽》[長野県下水内郡栄村秋山郷]1983年
- 4 《秋酣》[福島県南会津郡南郷村]1973年
- 5 《山雨来る部落》[富山県黒部市別所]1973年

* []内の地名表記は、制作時の記録等に基づきます。

Mukai Junkichi: Minka in the Mountains

戦後、日本全国を旅しながら、時代とともに失われゆく草屋根の民家を描き続けた画家・向井潤吉(1901-1995)。土地の風土に息づく民家の姿に魅了された向井の作品には、ときに地域の信仰の対象ともなる山を配した山岳風景が多くみられます。向井は常に周囲の自然にもまなごしを向け、うつりかわる季節と景色のなかで、多彩な表情を

みせる山々を背景に民家を描きました。本展では、春の芽吹きを待つ早春や、空気の爽やかな初夏、美しい秋の紅葉、冬の積雪、さらには曇りがかった雨の情景など、四季折々の山岳風景をご紹介します。自らの足で現地におもむき、自然を肌で感じながら屋外制作を行った向井ならではの、雄大な山と民家の表現をお楽しみください。

世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016

東京都世田谷区弦巻2-5-1

TEL.03-5450-9581

<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

[交通案内]

◎東急田園都市線「駒沢大学」駅西口より徒歩10分

◎東急世田谷線「松陰神社前」駅より徒歩17分

◎東急バス(渋05)渋谷駅～弦巻営業所「駒沢中学校」下車徒歩3分



撮影 上野則宏

Instagram
随時更新しています！

画家の暮らしの息遣いを今に伝える館内や、四季折々に豊かな表情を見せる庭など、向井館の日々の様子をご紹介しますほか、ミュージアムグッズなどの情報もお届けしています。



世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083

東京都世田谷区奥沢5-38-13

TEL.03-5483-3836

<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>



◎宮本和義

世田谷美術館分館

清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066

東京都世田谷区成城2-22-17

TEL.03-3416-1202

<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>



◎宮本和義

清川泰次 傑作展

2026年10月1日(木)～2027年2月28日(日)

世田谷美術館

SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075

東京都世田谷区砧公園1-2

TEL.03-3415-6011(代表)

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

同時開催展

企画展

スウェーデン・テキスタイル —暮らしと自然に息づく北欧デザイン 9月19日(土)～11月15日(日)

銅版画家・駒井哲郎 —掌上にひろがる星座のように 11月28日(土)～2027年1月31日(日)

世田谷美術館コレクション選

生命の惑星 セタビの森のわたしたち

2027年2月13日(土)～3月31日(水)

ミュージアムコレクション

気になる、こんどの収蔵品 —作品がつてきた物語

8月8日(土)～10月25日(日)

※ご入館に際しては感染症予防のため手指消毒にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、他のお客様へのご配慮をお願いします。

※展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。